

教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) ひろの認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動に加え、年長児が苺や野菜栽培等を楽しんでいる姿を見て、他年齢児も興味を持ち、自分たちで考え、栽培を楽しむ姿が見受けられる。その中で、どの年齢の子どもたちにも共通して「自己肯定感」があり「自信」のある園児は何事にも楽しんで取り組み、上手いかわなくても諦めずに挑戦しているが、初めから興味もなく手を出そうともしない園児もいる。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己肯定感」を育みながら、色々な活動・物への「興味・関心」を持ち「やってみよう」の気持ちを育む。</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の年長児に憧れ始めていた「竹馬あそび」では、少しずつ出来るようになる過程で周りの友だちにも喜んでもらえたり、拍手をもらえたりする姿を見ることで少しずつ「やってみよう」と思うようになった。</li> <li>・基本は周りの友だちの声掛けや友だちとのやりとりを近くで見守り、時に保育者も一緒になって楽しむ。</li> <li>・スキンシップや寄り添うことで「安心感」から「自己肯定感」へとつなげていく。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇遊び活動を中心に友達とやりとりをする中で、互いに認め合うことが増え、みんなと一緒にだから「やってみよう」と挑戦したり、恥ずかしがり屋の園児が友達に声の大きさを認められたことで自信につながったりする姿が見られた。</li> <li>・「担任に認められたい」という思いから増えていた「友達のできていないことの報告」が減ってきた。</li> <li>・職員自身も子どもの声を聞き逃さず拾えることが増え、乳児クラスでも「〇〇ちゃんが待ってるよーと言ってくれてるよ。」と気持ちの橋渡しを行い、喜んで友達のところに行くなど、子ども同士がつながっている。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びや認知的側面の発達に寄与するような取り組みは、さらに深まっているように思われる。また、主体性や創造性など、非認知的側面を伸ばすような取り組みが増えてきており、今後は認知・非認知の両側面をバランスよく取り入れていくような保育が期待できる。</li> <li>・園で取り組まれている運動遊びや学習に向かう態度の育成などについて保護者にも共有され、肯定的に受け止められている。さらに、園での取組とその方法について、理念的なものと繋げて保護者に伝えられるようにしていただくことで、より理解が深まるのではないかと考えられる。</li> </ul>